

■器具の取付工事には電気工事士の資格が必要です。(施工は必ず電気工事店(有資格者)に依頼してください。)

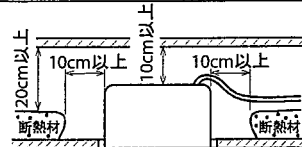
施工説明

工事店様へ・・・この取扱説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 取付工事は取扱説明書にしたがい確実に行ってください。
- 取付工事に不備がありますと火災・感電・落下の原因となります。
- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 断熱材、防音材をかぶせて使用しないでください。右図の空間を確保してください。火災の原因となります。
- 本器具は天井埋込専用です。壁や傾斜天井への取り付けはしないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)・周波数以外の電源で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 器具と被照射物は、30cm以上あけてください。被照射物の火災・変色の原因となります。

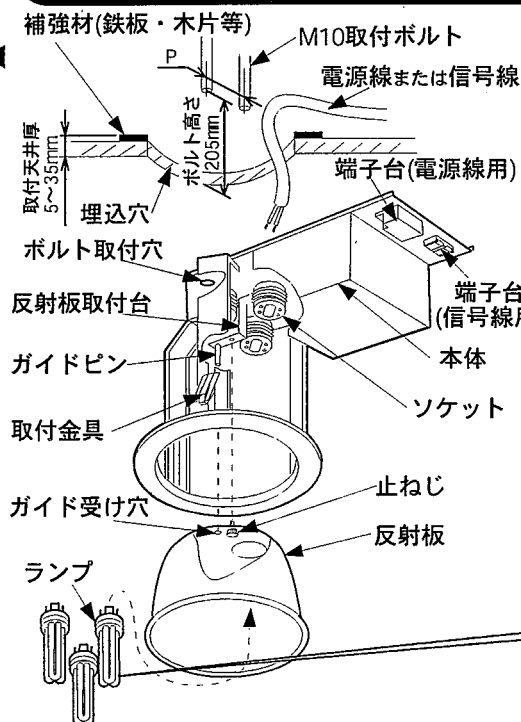


⚠ 注意

- 本器具は当社専用信号線方式の制御装置と組み合わせてご使用ください。動作不良や不点灯の原因となります。
- 本器具は一般屋内用照明器具です。直射日光のあたる場所・湿気の多い場所・振動のある場所・雨の吹き込みを受ける場所・風などが直接あたる場所・腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・感電・落下の原因となることがあります。
- 蛍光灯は周囲の温度や風などにより明るさが変化します。天井内および室内の換気等による器具への空気の出入りが強い所や低温となる場所では極端に照度が低下します。
- 絶縁抵抗試験は、必ず500V以下の絶縁抵抗計を用いてください。保護機能が作動し、不点灯の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。火災・不点灯の原因となることがあります。

各部の名前と取り付けかた

図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です。



1. 天井に埋込穴をあけ、器具質量に十分耐える取付部の強度を確保する。(表1)
●ロックウール等の柔らかい天井に取り付ける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材を入れてください。落下・光漏れの原因となることがあります。
2. 電源線・アース線を指定された長さにストリップし、電源端子台の接続穴の底まで確実に差し込む。{裏面(図1)}
●接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。
{電源端子台の電流容量は20Aです。}
●アースは電源端子台のアース線接続穴を使用しD種接地工事を行います。
●電源線を再接続する場合は、幅6mm以下のドライバーを解除部(アース線は○ドライバーを解除用穴)に押し込み、電源線を引き抜きます。
3. 調光信号線を調光端子台に接続する。{裏面(図2)}
●本器具には2台分の信号電流が必要です。制御装置に接続できる台数は、制御装置の取扱説明書に記載している台数の半分となりますのでご注意ください。
4. 電源線・アース線・調光信号線を引っ張り、接続の確認をする。
5. 埋込穴に器具本体を挿入し、取付金具または取付ボルトで固定する。(図3・4)
●取り付けに不備がありますと落下・光漏れの原因となります。
6. 反射板のガイド受け穴をガイドピンに合わせて挿入し、止ねじで取り付ける。
7. ランプを確実に取り付ける。{裏面(図6)}
●取り付けに不備がありますと反射板、ランプの落下の原因となります。
8. 工事完了時にランプが正常に点灯するか確認する。

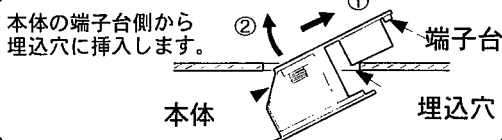
⚠ 注意

- ランプの取り付け、取りはずしは、反射板を取り付けた状態で行ってください。
- ランプのガラス部分を強く握らないでください。ランプが割れる恐れがあります。

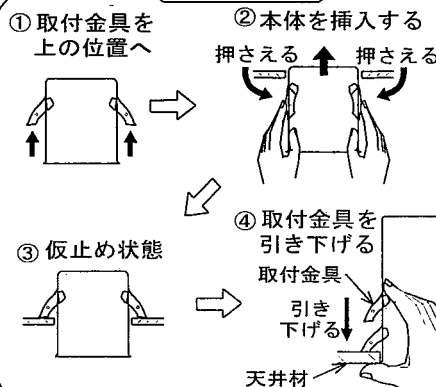
天井埋込穴と器具質量(表1)

器具形式	埋込穴寸法(mm)	ボルトピッチP(mm)	器具質量(kg)
HD4301-EX	φ250	155	2.7
HD4401-EX	φ300	190	3.5

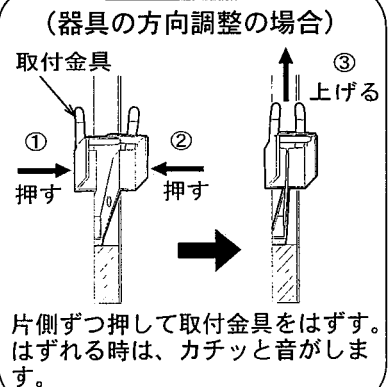
本体の挿入方法(図3)

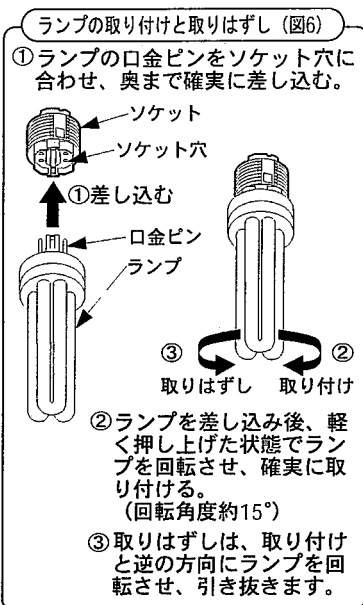
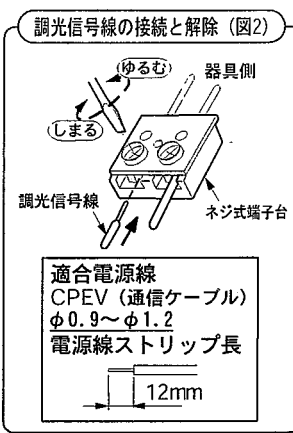
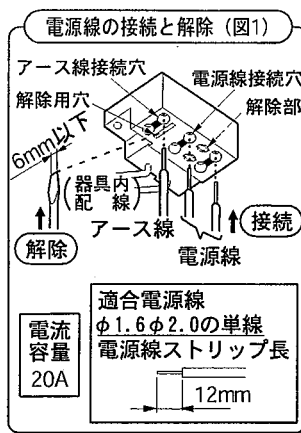
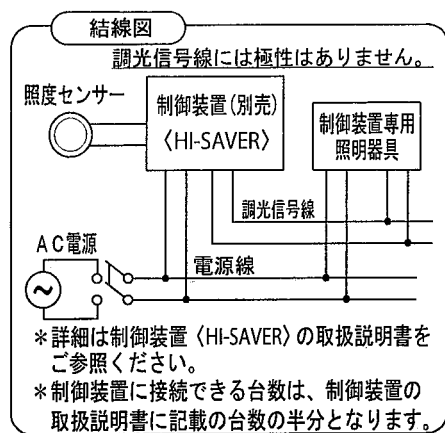


取付方法(図4)



はずす方法(図5)





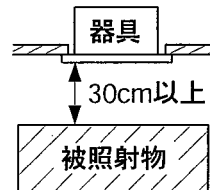
取扱説明 お客様へ・・・この取扱説明書は必ず保管してください。

- このたびは日立照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

警告

安全に関するご注意

- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 器具のすきまや放熱穴に金属類を差し込まないでください。火災・感電の原因となります。
- 器具やランプを布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しないでください。火災の原因となります。
- 器具と被照射物は、30cm以上あけてください。被照射物の火災・変色の原因となります。
- 煙がでたり異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切ってください。火災の原因となります。
- お手入れやランプ交換は、取扱説明書により確実に行ってください。火災・感電・落下の原因となります。



注意

- 器具の近くで温度の高くなるもの(ストーブ・ガスレンジ等)を使用したり、近くに燃えやすいものを置かないでください。火災の原因となります。
- ランプ交換の際には、本体表示および、取扱説明書にしたがって指定されたランプを使用してください。指定以外のランプを使用すると、火災・不点灯・絶縁不良の原因となります。
- ランプだけを器具から取り外しての間引き点灯はしないでください。火災・短寿命・絶縁不良の原因となります。
- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃・点検をしてください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店・電器店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。
- 3～5年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。

使用上のご注意

- 電波の弱い場所(山間部・鉄筋建物等)では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビ等を使用するのはお避けください。リモコンを操作しても動作しないことがあります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクの使用はお避けください。雑音が入り正常に動作しないことがあります。
- ランプの特性上、電源投入から明るさが安定するまで数分かかる場合があります。

お手入れ・ランプ交換 (必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。)

- ランプの交換時期は別売の制御装置の取扱説明書にしたがってください。(ランプ寿命を過ぎたまま使用しますと、明るさが落ちるだけでなく器具の寿命も低下させますので、新しいランプとお取り替えください。)

禁止	みがき粉・ベンジンなどでふいたり殺虫剤をかけないでください。また器具の水および洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。傷つき・変形・変色・サビの原因となります。	点灯中や消灯直後20分間は、ランプが高温となっていますので手を触れないでください。やけどの原因となります。
必ずしてください	ランプがほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。汚れが目立ちはじめましたら器具よりランプをはずし、きれいな布をせっけん水に浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふいて仕上げてください。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書にしたがってください。	お手入れなどでランプをはずし、再度取り付けの場合は、ランプを確実に取り付けしてください。取り付けに不備がありますと、落下してけが・物損の原因となります。
注意 ランプのガラス部分を強く握らないでください。ランプが割れる恐れがあります。	●この器具はコンパクト形蛍光ランプ専用です。ランプ交換の際には下記の適合ランプを必ずご使用ください。指定以外のランプを使用すると、火災・器具の破損の原因となります。 ●調光時の明るさが変わる場合がありますので日立製ランプをご使用ください。	適合ランプ { 42Wコンパクト形蛍光ランプ(高周波点灯専用ランプ) } FHT42EX

アフターサービス・・・ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。